

STAR

ボンネットダンプ

取扱説明書・部品表

製品コード	K54366
型式	MHW1010
部品供給型式	MHW1010-02
製品コード	K54341
型式	MHW1210
部品供給型式	MHW1210-02
製品コード	K54342
型式	MHW1510
部品供給型式	MHW1510-02

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

▲ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

▲ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

▲ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

▲ 警 告

バケットに収穫物を積載すると重心位置が高くなるため、傾斜地や凹凸地又は軟弱地で作業するとトラクタが転倒し、ケガをすることがあります。

傾斜地や凹凸地又は軟弱地では作業しないでください。

部品番号 106521

▲ 注 意



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 木樁を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に木樁を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

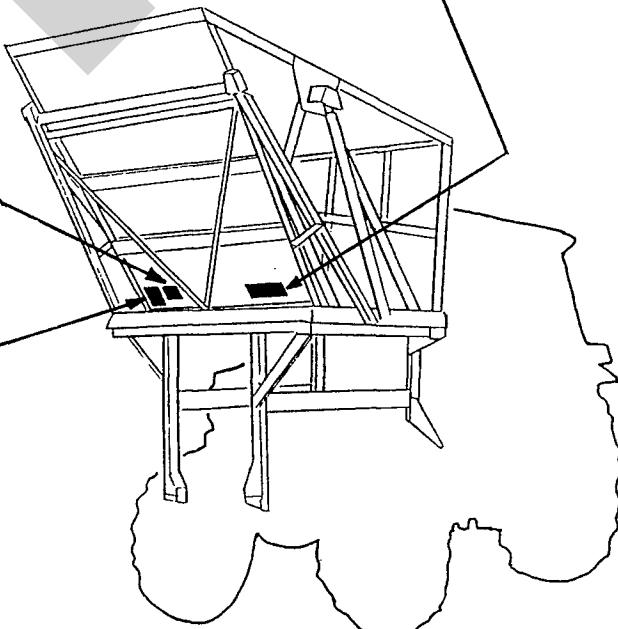
部品番号 106164

▲ 注 意

上がったバケットの下に身体を入れると急に降下し、ケガをすることがあります。

身体を入れないで下さい。

部品番号 106484



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。
- 次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
- 次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

□帽子を着用する。

□はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。

運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。

主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。

窓、戸などを開け、十分に換気してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。低速走行してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。路肩は走行しないでください。
- 高低差が大きい段差を乗り越えようとするとき、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。

あゆみ板を使用してください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- バケットを降下させずに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。降下させて移動してください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- バケットに収穫物を積載すると重心位置が高くなるため、傾斜地や軟弱地あるいは不整地で作業すると、トラクタが転倒する恐れがあります。傾斜地や軟弱地あるいは不整地では作業しないでください。
- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないで下さい。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。

- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおいてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 上ったバケットの下に身体を入れると急に降下し、ケガをすることがあります。身体を入れないでください。

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にバケットが昇降し、思わぬ事故を起こす事があります。
- エンジンをとめて行ってください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、バケットをあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてから離れてください。

- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にバケットが昇降し、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめて行ってください。
- バケットをあげた状態のまま下で不調処置・点検・整備をすると、不意に降下し、ケガをする事があります。
棒などで降下防止をして行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- バケットを上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
棒などで降下防止をして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 作業機に不調が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	4
作業中は	3		

1

トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	7	3 トラクタへの装着	8
2 適応トラクタの範囲	8	1. 装着前の準備	8
		2. ローダフレームユニットの装着	8
		3. ボンネットフレームの装着	8
		4. ボンネットダンプの装着	9

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	9	2 エンジン始動での点検	9
1. トラクタ各部の点検	9	3 給油箇所一覧表	10
2. ボンネットダンプの点検	9		

3

作業の仕方

1 本製品の使用目的	11	2 作業要領	11
------------	----	--------	----

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 12	3 長期格納する時 13
2 トラクタからの切り離し 12		

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 14
-----------	----------

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 15
-----------	----------

7 部品表

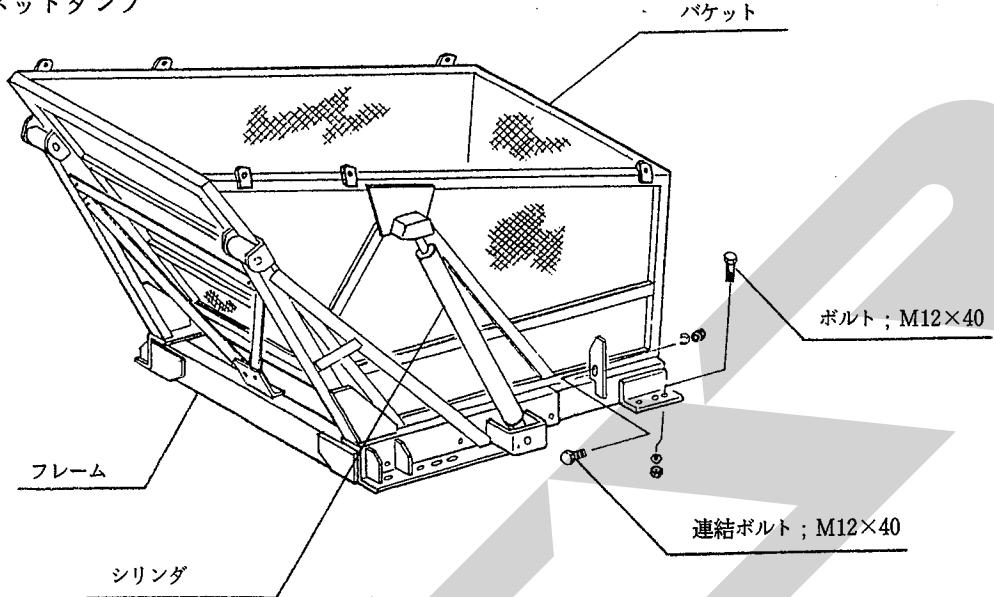
7 部品表 16
-------	----------

1 トラクタへの装着

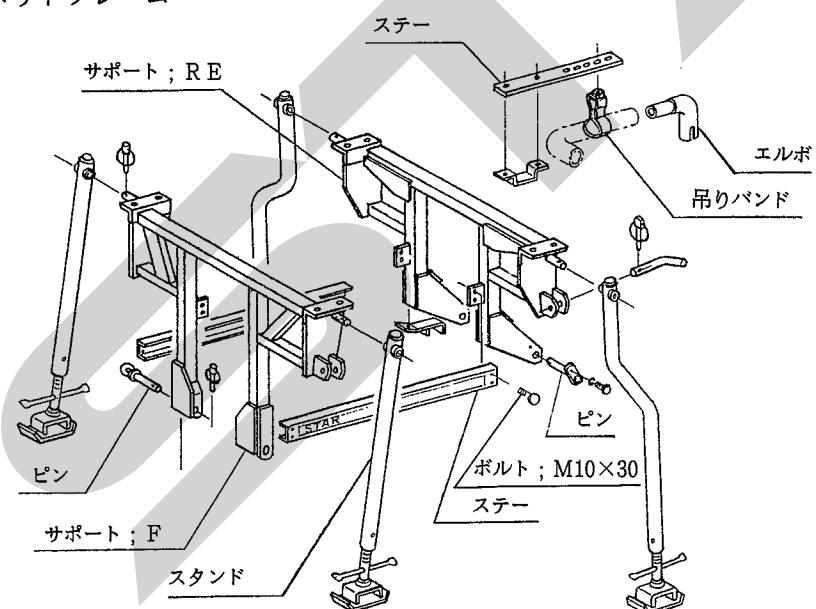
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき

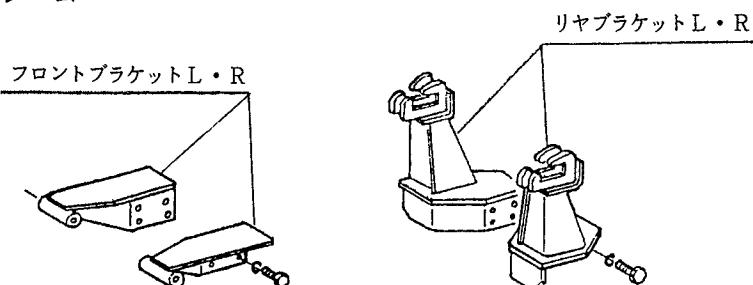
A. ボンネットダンプ



B. ボンネットフレーム



C. ローダフレーム

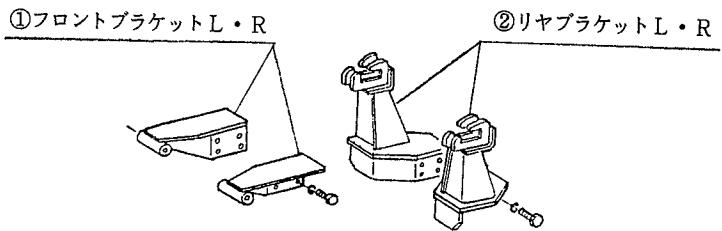


1. 連結ボルト ; M12×40

ポンネットダンプの装着作業時に、ポンネットダンプを吊り上げる際、バケットが持ち上がりないように固定しているボルトです。

2. スタンド

ポンネットダンプをトラクタから脱着する際、使用します。



2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品の適応トラクタ馬力は次のとおりです。

型 式	適応トラクタ馬力(PS)
MHW1010	30～65
MHW1210	60～100
MHW1510	100～

3 トラクタへの装着

▲ 注意

- 作業機をトラクタに装着する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

1. 装着前の準備

- (1) トラクタがフロントローダ付きの場合、ローダをはずしてください。
- (2) トラクタのマフラーを外してください。

2. ローダフレームユニットの装着

フロントローダの取り付け金具が装備されていないトラクタにはフロントブラケット；L・R、リヤブラケット；L・Rを取り付けてください。

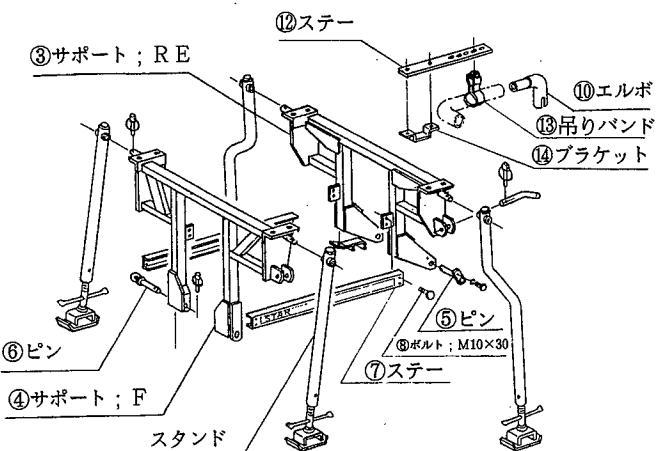
フロントブラケット、リヤブラケットはローダフレームユニットの梱包に入っている部品表を参照して組み付けてください。

尚、装着するトラクタにより部品形状が異なります。

3. ポンネットフレームユニットの装着

装着するトラクタにより部品形状が異なります。

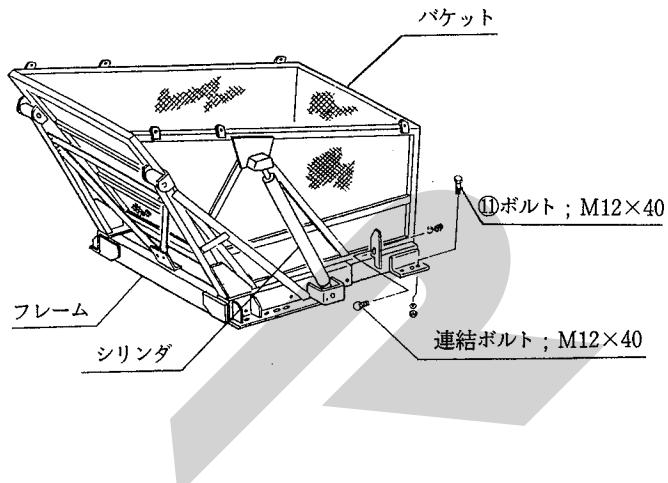
- (1) ステー⑦をボルト；M10×30でサポート；F④及びサポート；R E③に仮止めしてください。
- (2) クレーンあるいはユニックなどでポンネットフレーム取り組品を吊り上げ、ポンネットフレームの梱包に入っている部品表を参照しローダフレームユニットに組み付けてください。
- (3) エルボ⑩をトラクタのマフラ取付部に差し込んでください。
- (4) マフラーに吊りバンド⑬を取り付けた後マフラーをエルボ⑩に差し込んでください。
- (5) マフラーがポンネットフレームに当たらない位置を決めてから、ステー⑫とブラケット⑭をポンネットフレームの適当な位置に取り付け、吊りバンド⑬をステー⑫に取り付けてください。



4. ボンネットダンプの装着

- (1) ボンネットダンプのパケット部とベース部が連結ボルト ; M12×40で連結されていることを確認してください。
- (2) クレーンあるいはユニックなどでボンネットダンプを吊り上げボンネットフレーム仮組品の上面にフレーム部が位置するように移動してください。
- (3) サポート ; F、サポート ; REとフレーム部をボルト ; M12×40で固定してください。
- (4) ボンネットフレームの仮止めしたボルト ; M10×30を締め付けてください。
- (5) ボンネットダンプのパケットとフレームを連結している連結ボルト ; M12×40を取りはずしてください。
- (6) 油圧ホースをトラクタの外部油圧取出口に接続してください。
ボンネットダンプの油圧カプラは次表の通りです。

ボンネットダンプ型式	油圧カプラ
T H W1010	3 / 8 • オス
T H W1210 1510	1 / 2 • オス



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行なってください。

2. ボンネットダンプの点検

点検整備一覧表に基づき始業点検を行なってください。

2 エンジン始動での点検

取扱い上の注意

パケットとフレームを連結している連結ボルト ; M12×40 (2本) をはずさないでダンプするとボンネットダンプを損傷します。

連結ボルトを取りはずしてからダンプしてください。

1. 油圧系統に異常はないか。

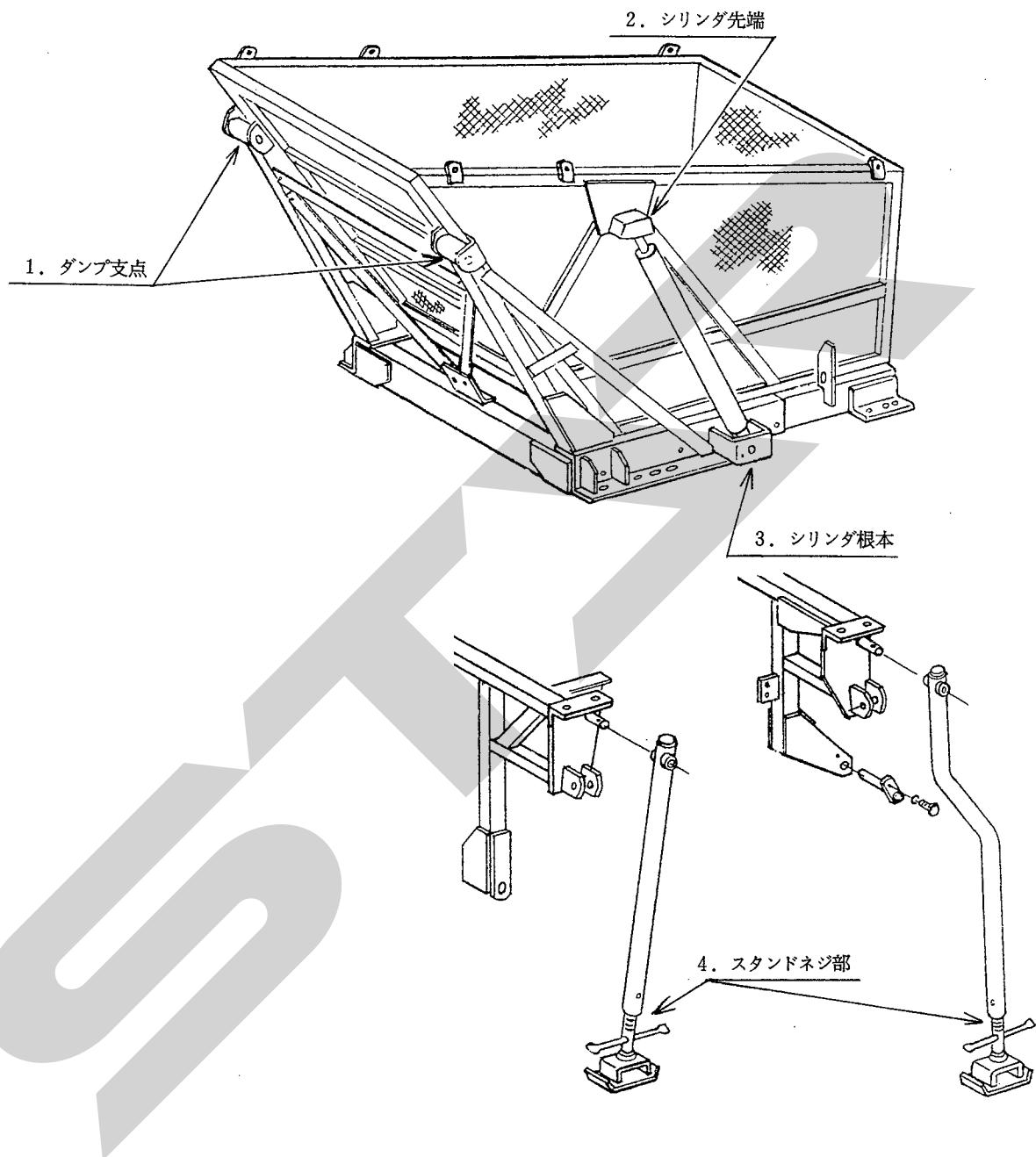
- (1) 外部油圧操作レバーを操作し、ボンネットダンプを昇降させスムーズに動くことを確認してください。

不具合が見つかった時は「6-1 不調処置一覧表」の説明に基づき不具合を解消してください。

- (2) トラクタの油圧系統に不具合がある時はトラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇 所	油滑油の種類	交換時間	量	備 考
1	ダンプ支点	2	グリース	使用毎	適 量	給 脂
2	シリンド先端	2	"	"	"	"
3	シリンド根本	2	"	"	"	"
4	スタンドネジ部	4	"	"	"	"

3 作業の仕方

安全を確認して、慎重に作業してください。

1 本製品の使用目的

本製品はトラクターボンネット上部にマウントさせ、牧草・とうもろこし等の収穫物の積み込み、及び荷降ろし作業（ダンプ作業）に使用します。他の用途には、使用しないでください。

2 作業要領

▲ 警 告

- バケットに収穫物を積載すると、重心位置が高くなるため、傾斜地や凹凸地又は軟弱地で作業するとトラクタが転倒しケガをすることがあります。
傾斜地や凹凸地又は軟弱地では作業しないでください。

▲ 注 意

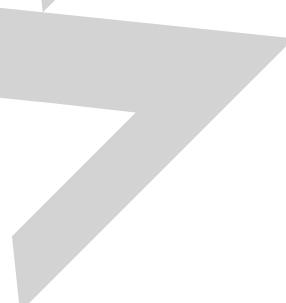
- ボンネットダンプを装着すると視界が悪くなります。
周囲の安全を確認できるように低速で作業してください。
- バケットをダンプすると、重心が上方に移動し左右のバランスが低下します。
ゆっくりとダンプしてください。

1. バケットとフレームを連結している連結ボルト；M12×40（2本）が取りはずされていることを確認してください。
2. 片荷にならないようにバケット内に収穫物を積載してください。
3. バケットがほぼいっぱいになったら、エンジン回転速度を低速にして、トラクタ外部油圧操作レバーを操作しバケットをゆっくり上昇させて収穫物を運搬車に移してください。
4. バケット内の収穫物を運搬車に移し終えたら、トラクタ外部油圧操作レバーを逆方向に操作しバケットがフレーム上に降りきるまで降下させてください。

取扱い上の注意

バケットをダンプしたまま作業のため移動すると、ボンネットダンプを損傷する恐れがあります。

バケットがフレームに降りきってから移動してください。



4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ

機械を長持ちさせるため、清掃、手入れは必ず行いましょう。

▲注意

- 機械の調整や付着物の除去などを行う時、エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にバケットが昇降し、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめて行ってください。

1. 機械に付着している収穫物等は、きれいに取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの締め、部品の交換をしてください。
3. 各部給油箇所は「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油してください。

2 トラクタからの切り離し

▲注意

- 作業機をトラクタから切り離す時、傾斜地や凹凸地又は軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し思わず事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

1. エンジンをとめて、油圧カプラをトラクタからはずしてください。

取扱い上の注意

油圧カプラをはずす時、バケットを上げたままではずすと、バケット重量による圧力が油圧カプラにかかり、再結合が困難になります。必ずバケットを完全に下げる状態ではずしてください。

2. ボンネットフレームに固定したマフラをはずしてください。

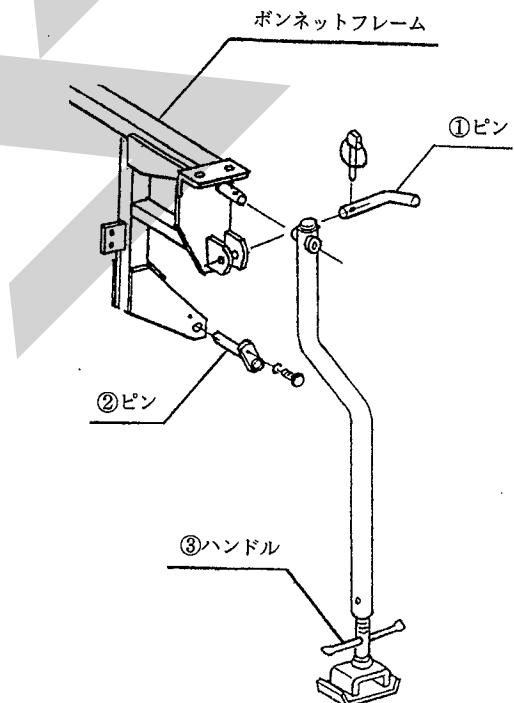
3. スタンドを取付け、①ピンを差し込み、ボンネットフレームに固定してください。

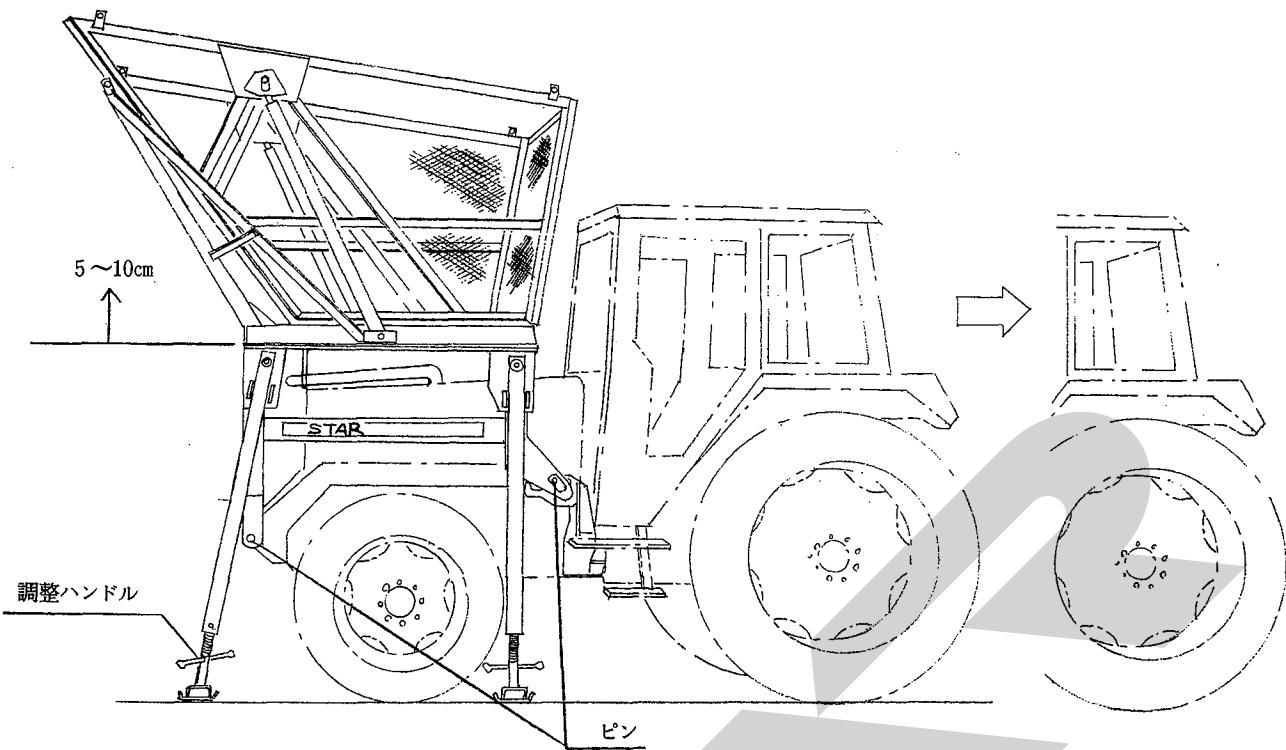
②ピンに荷重がかからない程度になるよう、
③ハンドルで、スタンド高さを調整してください。(下図参照)

取扱い上の注意

傾斜地や凹凸地又は軟弱地でボンネットダンプを切り離すと、ボンネットダンプが転倒する恐れがあります。

平坦で地盤のかたい所で切り離してください。





4. ボンネットフレームとローダフレームを固定しているピン（前後左右共）をぬき、調整ハンドルでボンネットフレームを5～10cm程度浮かせてください。
5. 完全にトラクタ側から離れたことを確認し、エンジンをかけ、トラクタをゆっくり後退させてください。
6. 取りはずしたボルト、ピン、部品等は、保管してください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、又は油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行ない、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意にバケットが昇降し、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめて行ってください。

1 点検整備一覧表

時 間	チ ェ ッ ク 項 目	処 置
新品 使用 1 時間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 每 (始業・終業点検)	<ul style="list-style-type: none">・機械の清掃・各部ボルト・ナットの緩み・各部の給脂<ul style="list-style-type: none">・ダンプ支点・シリング支点・各部の損傷、部品脱落・油圧ホース接続部からのオイル漏れ・油圧カップリング部からのオイル漏れ	<ul style="list-style-type: none">増し締め「給油箇所一覧表」に基づき給脂部品交換、取付増し締め、またはシールテープの交換カップリングの再給合または部品の交換
シーズン終了後	<ul style="list-style-type: none">・機械の清掃・各部ボルト・ナットの緩み・各部給脂・油圧配管部からのオイル漏れ・塗装損傷部	<ul style="list-style-type: none">増し締め「給油箇所一覧表」に基づき給脂増し締め、またはシールテープの交換塗装または油塗布

取扱い上の注意

本製品は、トラクタの外部油圧を利用して作業する機械です。

トラクタ油圧関係の点検（オイルの量は確保されているか、オイルが劣化していないか等）も合わせて行なってください。

6 不調時の対応

トラブルが発生したら「不調処置一覧表」に基づき、エンジンをとめてから処置してください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にバケットが昇降し思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめて行ってください。

1 不調処置一覧表

箇所	症 状	原 因	処 置
油圧配管部	オイル洩れ	接続部の締め込み不足	増し締め
		シールテープの劣化	シールテープの交換
		カップリング接合部が完全に接続になっていない	再度接合
		カップリングの規格が合っていない	同規格のオス・メスのカップリングに交換
ダンプ部	ダンプしない	油圧カップリングが接合されていない	カップリングを接合
		油圧カップリングの規格が合っていない	同規格のオス・メスのカップリングに交換

不調の原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（ “ ” ）
- ⑤ 個数（ “ ” ）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「見付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	②付
2	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例） BZ0815A (G)

（メッキ仕上げ）

A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の□・□は、以下のことを表しております。

□…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

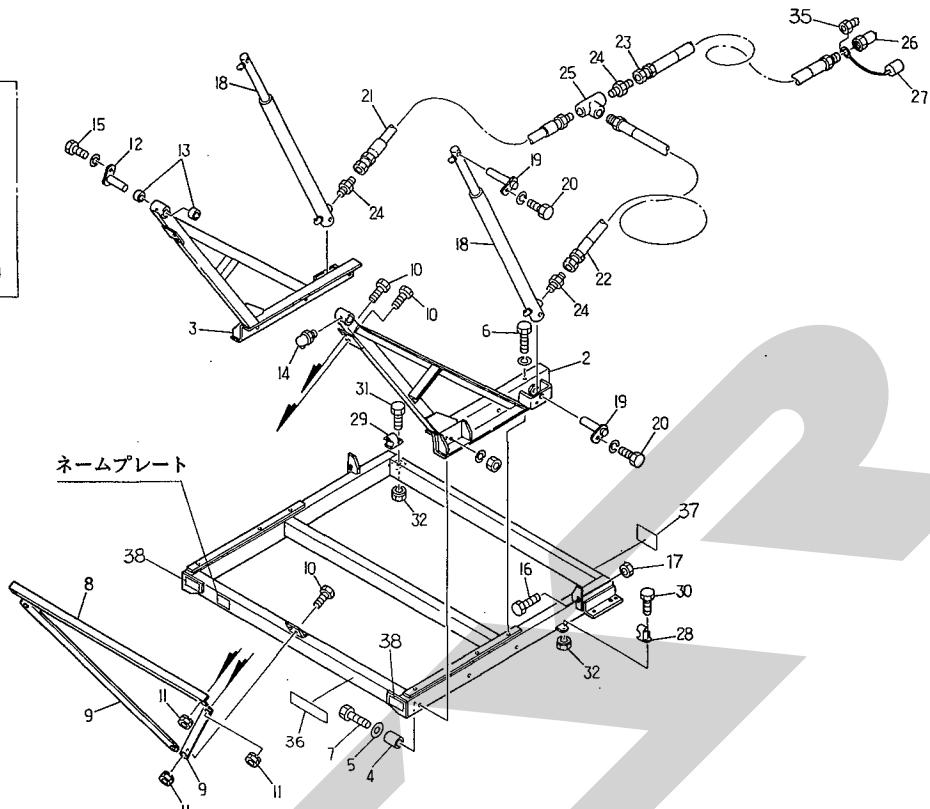
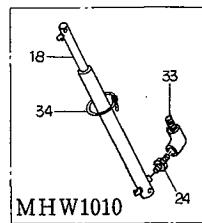
□…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

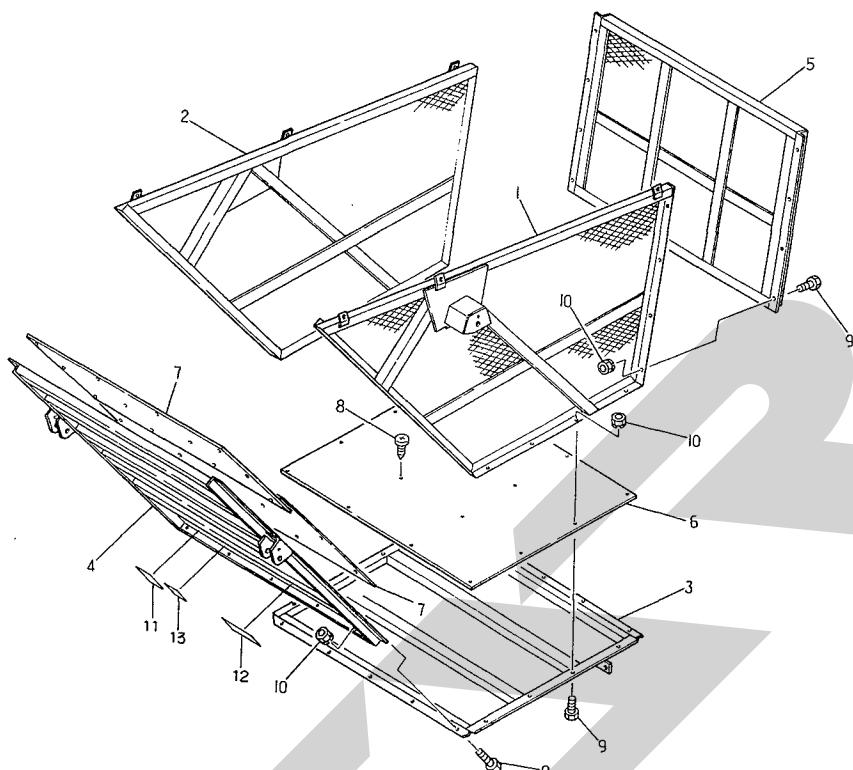
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

MHW 1010・1210・1510 ボンネットダンプ フレームサポート・ユアツハイカン



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
2	97064	サポート ; L ^{⑨13・14付} MHW1010	1	20	BZ1020WG	ボルト ; M10×20 (8.8)	4
	94653	サポート ; L ^{⑨13・14付} MHW1210,1510	1	21	66216	ホース ; 3/8×1000	1
3	97067	サポート ; R ^{⑨13・14付} MHW1010	1	22	94759	ホース ; 3/8×2500 MHW1010,1210	1
	94654	サポート ; R ^{⑨13・14付} MHW1210,1510	1		82995	ホース ; 3/8×3150 MHW1510	1
4	75507	カラー MHW1010	6	23	82995	ホース ; 3/8×3150 MHW1010	1
	94655	カラー MHW1210,1510	6		56882	ホース ; 3/8×4500 MHW1210,1510	1
5	42783	ワッシャ ; 12	6	24	YNP30	ニップル ; PT3/8×PF3/8	3
6	BZ1225WG	ボルト ; M12×25(8.8)	6	25	KT30	ティー ; PT3/8	1
7	BZ1270AG	ボルト ; M12×70(8.8) MHW1010	6	26	CLF30M	カプラ (オス) ; 3/8 MHW1010	1
	BZ1280AG	ボルト ; M12×80(8.8) MHW1210,1510	6		CLF40M	カプラ (オス) ; 1/2 MHW1210,1510	1
8	94656	アングル MHW1010,1210	1	27	00776	カプラキャップ ; 3/8 MHW1010	1
	94660	アングル MHW1510	1		00778	カプラキャップ ; 1/2 MHW1210,1510	1
9	97068	バー MHW1010	2	28	95263	ミニクランプ ; 18 MHW1010	2
	94657	バー MHW1210	2		95263	ミニクランプ ; 18 MHW1210,1510	4
	94661	バー MHW1510	2	29	95264	ミニクランプ ; 22 MHW1010	2
10	BZ1025G	ボルト ; M10×25 (8.8)	6		95264	ミニクランプ ; 22 MHW1210,1510	1
11	NP10G	スプリングナット ; M10	6	30	BZ0640G	ボルト ; M6×40 (8.8) MHW1010	2
12	94658	ピン ; φ30	2		BZ0640G	ボルト ; M6×40 (8.8) MHW1210,1510	4
13	70B-3025	ドライメットブッシュ ; 303425	4	31	BZ0650G	ボルト ; M6×50 (8.8) MHW1010	2
14	ONBS1	グリースニップル ; B-PT1/8	2		BZ0650G	ボルト ; M6×50 (8.8) MHW1210,1510	1
15	BZ1225WG	ボルト ; M12×25(8.8) MHW1010	2	32	NP06G	スプリングナット ; M6 MHW1010	4
	BZ1220WG	ボルト ; M12×20(8.8) MHW1210,1510	2		NP06G	スプリングナット ; M6 MHW1210,1510	5
16	BZ1240G	ボルト ; M12×40 (8.8)	2	33	KLF30	メス・オスエルボ ; PT3/8 MHW1010	2
17	NN12G	ナイロンナット ; M12	2	34	ILT50L	インシュロック ; T50L MHW1010	2
18	94757	シリンド ; CSO40×1100×1350	2	35	KB4030	ブッシング ; PT1/2×PT1/3 MHW1210,1510	1
19	94758	ピン ; φ22	4	36	95982	STARストライプラベル ; 45	1

MHW 1010・1210・1510 ボンネットダンプ パネル



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数		
1	97069	サイドパネル；L	MHW1010	1	10	NP10G	スプリングナット；M10	MHW1010	34
	94675	サイドパネル；L	MHW1210,1510	1		NP10G	スプリングナット；M10	MHW1210	38
2	97077	サイドパネル；R	MHW1010	1		NP10G	スプリングナット；M10	MHW1510	40
	94676	サイドパネル；R	MHW1210,1510	1	11	106484	ラベル；ケイコク70		1
3	97078	ボトムパネル；2.5	MHW1010	1	12	106164	ラベル；ケイコク1		1
	94685	ボトムパネル；3.5	MHW1210	1	13	106521	ラベル；ケイコク107		1
	94690	ボトムパネル；4.5	MHW1510	1					
4	97080	フロントパネル；2.5	MHW1010	1					
	94686	フロントパネル；3.5	MHW1210	1					
	94691	フロントパネル；4.5	MHW1510	1					
5	97083	リヤパネル；2.5	MHW1010	1					
	94687	リヤパネル；3.5	MHW1210	1					
	94692	リヤパネル；4.5	MHW1510	1					
6	94689	プレート	MHW1010	1					
	94688	プレート	MHW1210	1					
	94693	プレート	MHW1510	1					
7	97086	プレート	MHW1010	2					
	94689	プレート	MHW1210	2					
	94694	プレート	MHW1510	2					
8	TV0612G	タッピンネジ(ナベ)；M6×12(3種)	MHW1010	32					
	TV0612G	タッピンネジ(ナベ)；M6×12(3種)	MHW1210	36					
	TV0612G	タッピンネジ(ナベ)；M6×12(3種)	MHW1510	45					
9	BZ1020G	ボルト；M10×20 (8.8)	MHW1010	34					
	BZ1025G	ボルト；M10×25 (8.8)	MHW1210	38					
	BZ1025G	ボルト；M10×25 (8.8)	MHW1510	40					







本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番35号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見営業所 090-0001 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笛賀5824-5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644